

組織

会長	阿部 千鶴子 (八幡平小学校)	理事	海沼 智恵子 (花輪中学校)
副会長	関 清志 (尾去沢中学校)	理事	辻 明日香 (十和田小学校)
事務局	川口 好陽子 (柴平小学校)	理事	内川 由美子 (小坂小学校)
研究部	川島 春音 (十和田中学校)		
事業部	滝澤 政夫 (大湯小学校)		
会計監査	山崎 明子 (大湯小学校)		

主な事業

令和7年度総会・研修会

県児童生徒美術展鹿角地区審査会
鹿角造形教育研究会 研修会

鹿角小・中・高合同美術展
(コモッセ/1月14日~1月19日)

研究会(事業)の記録

県児童生徒美術展鹿角地区審査会 (12月9日)

今年度は、小・中合わせて 147 作品が出品され、そのうち、小学校 32 作品、中学校 20 作品が入賞した。

1月に行われた県の審査会では、小学6年から2作品が話題作に選出された。



鹿角小・中・高合同美術展 (1月14日~1月19日)

今年度も小・中・高合同美術展を開催した。県児童生徒美術展に出品された小・中学生の作品 147 作品のほかに、高校生の作品も出品され、多くの来場者に鑑賞していただくことができた。



作品を見合う会 (1月19日)

北教育事務所 田森 舞 指導主事を講師としてお招きし、作品を見合う会を開催した。

見合う会の中では、「タイトルが工夫されている作品が多い。タイトルには、児童生徒の表したいこと、主題が込められたものであってほしい。タイトルから表したいことが伝わるものには、鑑賞者もひきつけられる。」というお話があった。また、「背景が塗られていなかったり、作品の一部が塗られていなかったりする作品であっても、そこに子どもの思い(表現したい意図)があれば、それは認めるべきである。」という助言もあり、教師本位の授業にならず、児童、生徒が主体的に作品制作に取り組めるよう工夫が必要であると感じた。

本会で実施している「小中高合同美術展・作品を見合う会」は小学校1年生から高校生までの作品が一堂に会する貴重な機会である。発達の段階を追って作品を見ながら、鹿角の造形教育について議論できる研修であるため、今後も継続していきたいと考える。

6年 話題作

